

## 2 松葉杖をついて、クサナギがやってくる。

クサナギ        人間の体が、こんなに壊れやすいものだと思いませんでした。刑事ドラマの犯人役で、東京駅のロケ。階段をタッタッターって駆け降りて、一瞬後ろを振り返ってカットだったんですけど、途中で一段踏み外したんですね。危ない、危ないって思いながらも、勢いがついてるから止まらない。あれは、もう、駆け降りるっていうより、空中でもがいてるって感じでした。しかし、僕は最後まで諦めなかった。残り五段でところで、一気にタンッて跳んだんです。着地は見事に決まりました。タンッて跳んで、ブチ。イヤな音だった。アキレス腱太いですからね。カメラさんにもよく聞こえたそうです。カッコよく着地して、カッコよく振り返ろうと思ったのになあ。顔のアップなんて、そのカットだけだったから。こうして、大学卒業以来、久しぶりの夏休みがやってきたわけです。

クサナギが座る。そこへ、郵便屋が自転車に乗って、やってくる。

「ナツヤスミ語辞典」成井豊